

令和6年度 第7回長崎市文化振興審議会 議事録

日 時：令和6年12月25日（水）14：30～16：00

会 場：市役所7階 記者会見室兼中会議室

次 第：

- 1 市民文化活動振興プランについて
- 2 市庁舎本館跡地等の活用に関するサウンディング型市場調査の結果について（報告）

次第1 市民文化活動振興プランについて

【事務局（市民生活部）】資料1 市民文化活動振興プランについて説明

【会長】

今後の進め方はどのようになるのか。

【事務局（市民生活部）】

まずこれから今の説明について皆さんに改めてご意見、ご質問をいただく。それをふまえて、さらに修正を加えて具体化していき、来月、修正を加えたものを最終案ということでお示ししたいと思っている。ただ、この資料の配布が本日お手元に配布させていただいたので、本日審議会が終わって、改めて目を通していただいて気になる文言とか表現があれば後日メール等でいただければと思っている。ただ、大きな流れや構成というものは基本的には今の素案という形で進めていきたいと思っている。1月に最終案を示させていただいた後、2月にパブリックコメントを予定している。これが、ルール上、ひと月はしっかり市民の皆さんから意見をいただかないといけないということになっているので、2月いっぱいはその期間にあてると、それを踏まえて3月に完成というスケジュールを予定している。

【会長】

メール等での意見等送付の期限は決めるか。

【事務局（市民生活部）】

1月の中旬くらい、ちょっと早めに期限を決めさせていただいて、追ってお知らせしたいと思う。

【会長】

委員からお気づきの点があればお願いしたい。

【委員】

アンケート等に対する対応状況の4ページの下から2番目、文化団体との連携のところ、舞踊や伝統芸能などが抜け落ちている修正で、資料20ページにも結局、舞踊も伝統芸能もここには書いていない。多分市民文化団体等の中に含めたという意味かなと思うが、ご存じのようにダンスというのは音楽や美術と同じように、今学校の必須科目になっているし、若い子たちはストリートダンスなど盛んで活発にやっている。それだけ人口も非常に多いものに対して全く触れてないというのはいかがなものかなという意見だったと思う。それと、伝統芸能というのは日本の伝統文化を伝えていくというもので、それもやはり今各地域の

担い手が失われていく中で、これは力を入れていかないといけない部分だと思うので、そこは文言として入れていただいた方がいいのかなと思う。文言が入ってなければ、そういう活動自体も結局やらないままということになるので、ここはぜひやはりこの文言を入れていただくのがいいと思う。

【会長】

検討いただけるか。

【事務局（市民生活部）】

もっと文化団体と積極的に連携して、例えば今ご指摘いただいた舞踊とか伝統芸能とか、非常に大事な文化というところもあると思うので、書き方は次回までに検討させていただければと思っている。

【委員】

伝統文化の体験教室も市と協力しながら実際にやっているの、ぜひ入れていただきたいと思う。

【会長】

ほかに。

【委員】

1 ページの概要のところの下から 7 行目「次世代を担う」でいいのか。時代を担うじゃなく次世代を担うってのがちょっと引っ掛かる。同じように、15 ページには「身近に芸術文化に親しむ機会の充実」という項目のなかで未来の担い手であるという表現になっている。確かに未来の担い手であり、時代の担い手であるというのはもちろんだが、子どもが将来のために今を大事にされるということではなく、子どもが子どもでいる今この時代を生き生きと暮らせるということが大事だと思う。未来のための存在というような表現ばかりが目にとまってしまって、表現として見直しができないかと気になった。あともう一つ、生成 AI デジタルのところだが、取り組み事例に生成 AI によるアート制作体験とあるが、これが市として芸術文化を振興する中にこれを体験活動としてやる必要があるものなのか、というのが説明を受けながら思った。

【会長】

まず 1 点目のテーマはおっしゃるとおりと思う。このような表現はいろんなところに出てくるので、ちょっと文章を工夫されたら誤解がない気がする。2 点目の意見は皆さんの意見を伺いたい。

【委員】

確かに生成 AI によるアート作品制作体験ってほかのことに比べて少し範囲がこれだけ狭いので、例えばデジタル技術を活用したアート作品制作体験とかでやめておくとか撮りアニメなどもデジタル技術で作られるわけだから、そういうものも含まれてくるのかなと。

【事務局（市民生活部）】

あくまでも広く我々は芸術文化に触れていただきたいという事例のひとつで挙げさせていただいた。確かにここに生成 AI と書いてしまうと目立ってしまうことになるので、今委員からご意見があったデジタル技術を活用したとかそういった形で包含したような表現を検討したいと思う。

【会長】

来年は国民文化祭など文化事業がすごく色々ある中でプランが施行される。状況としてはちょっと特殊な状況でこのプランを検証してみないといけないということはあるかもしれない。次の5年間の時にもう少し考えていただきたいのは文化予算の件である。皆さんから意見が上がっても結局は予算のしぼりがあるので、全部はできないと。そうすると多少優先順位あるいはバランスを考えるとなかなか思い切ったことができないということもあるので、文化予算をどうやって確保していくかは大きな課題で、次の後期の時には少し検討したらいいかと思う。令和3年文化庁の資料によると、全国の中核市の文化事業が市民ひとりあたりどのくらい使われているのかというランキングで残念ながら長崎は50番目くらい。ひとりあたり金額にすると99円、お隣の佐世保市は199円、トップスリーは豊中、金沢、松本で、豊中はひとりあたり5,000円弱、金沢はそれに近い。長崎は99円という状況はいかかなものかなと。長崎はいろいろ大変な状況とは思いますが、どうやったら乗り越えていけるかということをお次回後期中で検討してもいいかなという気がする。

【事務局（市民生活部）】

まず全体的に長崎市がどれだけ文化に予算はいくらかというのはおっしゃるように検討したいと思う。毎年の予算については、できれば来年国民文化祭があって、その中でどういう事業がやられたというのをしっかり次の年に夏くらいにかけてみなさんで検証していただいて、翌年度議論を進めながらやっていくのが一番いいサイクルかなという風に個人的には思っているので、そのへんも含めてまず毎年しっかり振り返りの検証をしていく中で全体的な長崎の予算のあり方というものもご意見をいただければと思っている。

【会長】

国民文化祭があって、若い人たちが色々意見を出してやろうとしているので、それをどうつなげていけるかについては、この審議会の時にももしかしたら責任を負っているんじゃない

かと思う。

次第2 市庁舎本館跡地等の活用に関するサウンディング型市場調査の結果について（報告）

【事務局（市民生活部）】資料2市庁舎本館跡地等の活用に関するサウンディング型市場調査の結果について（報告）について説明

【会長】

11月議会委員会資料をもとに説明いただいた。以前文化振興審議会では文化施設については議論できるが周りについては審議するにはなじまないと話したが、今日は企画政策部も来ていただいているので鋭い質問も受けていただけるかもしれない。

【委員】

2027年度以降着工は市の方針でないとしても意見があるということは専門家から見ればこうではないかということなので、3年後であと1年半、施工が2年だったら6～7年後になる。以前の資料にPFI事業の実施ステップがあり、これが7工程で今のところまだ1工程。事業計画があるなら事業計画に基づく何か月程度の日程設定ができる気がするがあえて公表してないのが気になり、検討する、掘り下げた調査が必要ばかりで、今から調査するのかとなるので、期限が欲しい。もう1点、マンション、ホテル、事務所、コンビニ、飲食店は普通に考えられることで特別調査しなくてもよかったのではないかという気がするが、ホールの上にマンションやホテルはあれだけ大きな音がするのにたぶんどきないと思う。チトセピアホールができたときに勤務しており、コンサートをしたときに上から苦情が来て私と当時の館長と2人で謝りに行き、チトセピアホールではこういうことはできないとの制限ができた事例がある。もう1点、マンションやホテルと一緒に作るようになったときに文化振興審議会の枠を超える気がする。文化の第一線で活躍している人たちがここに集まり文化のことならいくらでも話せると思うが、コンビニなどの経営に関すること、何が一番儲かるかを審議するわけにいかないから、これは難しい。内閣府民間資金等活用事業推進室も、ながさきピース文化祭も、MICEを作ったときも推進室が必ずある。これだけの事業なので推進室を作り専門的に進めていかないと、検討を今から全部文化振興課がするのも聞きたいが、また時間がかかってしまう。できあがる目前まで来ていたのにいきなり6～7年も先になるのはとてもしっくりこないの、私たちとしては皆さん同じ意見だと思うが1日も早く文化施設を作ってほしい。

【会長】

我々の気持ちを言ってくれたださったと思う。文化施設以外の部分について文化振興審議会での議論は当初から難しいと、ただどんなふうになっているか知らないで文化施設もどんなふうになるかわからないので情報を伝えていただいた。一体いつになったらとの点と時間をかけないために推進室なりを作り少し前に進められないかとの点、2人部長がいらっしゃっているのでコメントいただきたい。

【事務局（市民生活部）】

スケジュールについて、先程のステップは PFI 事業を導入しそれに則り事業を行う場合のステップ。今回のサウンディング調査の目的は、このエリア、面的な部分をどう整備していくのがいいのか、そのなかで PPP/PFI の導入の可能性も含め調査をしている。具体的にどういう手法でどういう内容で整備、活用していくかによって期間やスケジュールが変わってくるので、その前提になる調査をしており、具体的な内容が定まっていななかでスケジュールを引くのが難しいので現時点ではお示しができないのでまずその点をご理解いただきたい。推進室について、市の事業を行うなかで専門部署を立ち上げる状況はこれまでもあったが、具体的にどういう内容で整備をしていくか、どういう事業を行っていくかが一定見えてきたなかで、どのくらいの期間が必要かも含め整理が一定されたなかで専門部署が設置されてきた経緯がある。現在市庁舎本館跡地を含めた4つの場所、エリアについてサウンディング調査を行っているので、まずはこの調査をしっかりと行ったうえで、その結果を踏まえ対応については検討していく。

【事務局（企画政策部）】

市庁舎本館跡地、新文化施設の件については、我々も一緒になって取り組んでいる。私も市民生活部長をしていたので、新文化施設の基本構想、基本計画の段階から、この審議会にも話を出させてもらい協議をし、できるだけ早期の整備をと検討してきた。そのようななかで昨年市長も変わり長崎市の置かれた人口減少の問題が一番あるということで、新文化施設の整備については元々単独で行うと方針を決めていたが、もっと賑わいのある形にできないかと検討した格好。アイデアがないかとサウンディング調査をしており今後も引き続き行うが、そこをしっかりと踏まえたうえで次のステップに行く必要があると我々も思っており、ここは非常に重要な土地であると考えているので、引き続き進めていきたい。

【会長】

説明いただいたが、たぶん委員のほとんどは納得しにくい部分がある。形が見えてからスケジュールを立てると、我々文化関係者はそんなことはしない。本番の日がありどうやって間に合わせて稽古、準備、チラシ作りとそこに向かっていく。どの分野でもできた後に何かができるなんてのんびりした団体は1つもないと私は思う。必ずここを目指してのここがぐ

らついたからおかしなことになったのではないかとだいぶ思う。部長がおっしゃった中身が見えてきてから推進室なりができるのも1つのやり方でそうされてきたかもしれないが、逆に言えば推進室でそのところを考えたらいいのではないか。新文化施設については何年も時間をかけて令和元年に基本構想、令和5年に基本計画を作り、その次は設計に入るところまで進んでいる。今更中身を考えることはない。あとは周りをどうするか、賑わいをどうするかは文化施設の問題ではなく、また別のことで、1つはもうできている。新たに加わった要素をどう加えるかだと私は思うが、その辺はいかがか。文化施設についてどんな文化施設にするかもう1回するのか。

【事務局（市民生活部）】

文化施設に関しては今会長がおっしゃったとおり。基本計画までできているのでどのような内容で整備をするかの考え方をお示ししている。そのようななかで今回サウンディング調査にあるように文化施設も含めたこのエリアをどういうふうに整備を図っていくのかというテーマになってきており、そういう意味で先程文化施設以外の部分はこの審議会での議論のテーマからちょっと外れるのではないかとのお話もあったが、文化施設以外をどうするかは当審議会の審議事項からは外れることになると思うが、ただ全体をどう整備をしていくかは文化施設も含めての話で、関係が当然あるので当審議会でもご説明を差し上げている。そのようなことを前提にすると、今会長からお話があったのはたとえば文化施設だけ先行してとの趣旨にも受け取ったが、全体的な面的整備を今検討している状況なので、その調査がまだ進んでいるなかで文化施設だけが動くことにはなかなかならない。まずはしっかり調査を進めたうえでその結果を踏まえ対応を検討していくことになる。

【委員】

スケジュールの件は市民生活部長ともここでやりあい、いつまでにどうかがいつまでにわかるかのようなやり取りもしたが、むなし。この文化施設の検討をし始めたのは公会堂が無くなりそれに代わる文化施設を作ると前の市長が約束をして、それから検討が始まったが、もう何年、かなりなる。その頃にはまだジャパネットのスタジアムシティの話はまだこれっぽっちも出ていなかった。ところがあれよあれよという間にもうできている。素早くあんな大きい規模のものができないわけではない。なぜできないのか。ここに文化施設を作るにあたっては計画までして設計に入るところまでいっていた。そしてそこに建てる障害は費用の問題だけで、あとは問題なくできるはずだったが、ここが最適なのかとの話で1年丸々無駄にした年もあったが、建設費はどんどん高くなっていく。これから下がっていくことはもうありえない。先に延びれば延びるほど高くなり、こんなに高くなったらとても文化施設は作れないとの話にならないかが私が一番懸念するところ。一刻も早く建てれば一番安くできる。会長が言われたように文化施設だけ先に建てたらどうか。周りのことは周りで、またそれからゆっくり検討して考えていただいて構わない。賑わいの創出が必要と、今の長

崎を考えるとどれだけ賑わいの場所があるか。スタジアムシティは私も今さっきしばらく時間を潰していたが平日なのに人がいっぱい。アミュプラザも新しくなり駅前もあんなに人がたくさんになった。これだけ賑わいの場所がいっぱいできているが人口は減り賑わう人がいなくなったらどうなるだろうとの心配もある。とりあえず文化施設が今ない。もう市民会館も老朽化してきて使い勝手も悪いし、楽屋も古い。私たちが毎年している発表会も結局集中してしまい抽選に漏れていつもしている 11 月は無理で来年は 12 月に食い込んでくる形になったが、本当に会場がなく、公会堂が無くなってからここもう何年もそういう状況がずっと続いている。これをまたあと何年続けるのか。そのうちに会員は皆高齢なので踊る人がいなくなってしまうのが心配。文化施設だけ先にしないか。周りはゆっくり考えていただいて、賑わいを出していただくのもいい。建ってみてどれだけ人が集まるかも調査になる。とにかく今すぐ建てるのが一番安くできる方法。これは長崎県内の某自治体の市長の方からもそうアドバイスいただいた。ぜひ検討していただきたい。

【会長】

文化施設だけ先にはなく文化施設は計画ができているからそのことを踏まえて一緒に推進していったらと私は申し上げた。早くできたらもちろん嬉しい。

【委員】

資料 6 ページの「イ民間収益施設を整備する場合、その用途や内容等に関する提案」にマンション、ホテル、カフェ、コンビニ、レストラン、フィットネスが並んでいる。これはほとんど民間の参入できるような業種だろうが、市庁舎本館跡地、駐車場、その他全て今まで市の所有のもので、重要な市の所有地をあまり周りからの意見を聞きすぎて市の主体性がちょっと弱い気がする。いろいろな方式を民間の意見も入れてとの考えは必要かと思うが、せっかくの長崎市の所有の土地なので、文化施設などもうちょっと市が主体となったような施設の作り方はできないだろうかとの感じを受ける。

【会長】

費用のことはあるかと思うが、今の指摘についていかがか。

【事務局（市民生活部）】

あくまでもあそこにある市の施設、土地を民間業者に売り払ったり差し上げたりして事業を行っていただくのではなく、ある程度期限を切ったなかで、文化施設、それからエリア全体の賑わいを生み出すためにはどのような施設が考えられるかご意見を賜ったところこのようなご意見が出てきたところで、当然アイデアはこれに限らず、さらに深掘りをしているようなアイデアが出てくるように掘り下げていくが、そのなかで長崎市としてどのようなものいいかを今後詰めていきたいと考えている。公的な文化施設やその他の公的な施設

もちろんご意見あったが、当然必要なものは作っていく必要があると思うが、やはり公的な施設はどうしても公的な費用で作っていく形にもなるので、そのようなことを踏まえると、やはり民間のお知恵やアイデアは必要と考えている。

【委員】

私が懸念していたことが起こっているという気がする。基本計画と基本構想ができていない新たな文化施設については意欲的な意見がいろいろ出たがそれ以外の用地についてはアンケート並みの意見しかなかったとのことで、この意見が揃うのはいつのことだろうかと思う。先程委員からも文化施設だけでも先に進めたらというようなお話もあったが、市に財源がないということも調査が必要なこともよく分かる。ただ今現在文化施設がない。2015年3月に公会堂が閉鎖された。来年3月になればもう10年になる。私どもは今2か月に1回3日間市民会館を使わせていただいている。ところが、2026年2月例会の申込をしたところ、1月から3月まで市民会館は空調の工事期間に入っている。ブリックホールも2月から3月まで工事が入っている。どこを使えばいいかとチトセピアホールに連絡したらそこも最初は工事が入っていて、少し工事期間が前倒しになったことでなんとか1月4日に抽選会場へ行くが一体そこでできることになるかで今頭がいっぱい。ホールの規模がチトセピアホールは市民会館の半分しかない。2026年2月は歌舞伎で、そういったところで歌舞伎の芝居ができるのだろうかと考えただけで頭がいっぱいになってしまう。なぜ同じ期間に工事をするのか理由を聞いてみたところ、来年国民文化祭のために工事がどうしても後倒しになってしまう。市としては年内に予算を使ってしまうなきゃいけないから年が明けて3月の間までにしようという考えだろうと思う。ただ私どもとしてはとても困っている。特に3日間借り受けるので土日が全く使えない。月火水あるいは水木金がほとんどの日程。それでも取れるかどうか分からないというこういう状態で、まず千人規模のホールを作ってほしい、どこかにないだろうか、工事期間を同じ時期に重複しないでほしいというのが切実なお願い。

【委員】

話を聞いて昔のことを思い出す。ブリックホールができる前、市民会館と公会堂しかなかった。個人の会で今おっしゃった歌舞伎舞台のようなセットを組む舞台の大会は4年に1回、おさらい会は毎年してきた。おさらい会は小さいところでもいいが4年に1回の大会になると公会堂と市民会館しか当時なく抽選で取るので大変だった。3回位取れないので真夏になり、当日はよかったがリハーサルの前日に台風と直面したこともありひやひやしたが、そんなことをして取ってきた。そしてやっとブリックホールができて3つになったのでちょっと落ち着いてきたと思ったら今度は公会堂が無くなった。そしてまた今、昔と同じような状態。もっと昔よりひどいのは1団体でブリックホールでは大きくて無理。無理して私も3回位してきたが、ああいう大きいところでは、日本舞踊は無理。今後はしょうがない、老

朽化した市民会館しかないのかと思います、私もコロナ禍は控えていたが、今からまたしなきゃいけない。今度の劇場を大変楽しみにしており、私がここの委員になってから、もうすぐできるようなことだったのでとても喜んで、いろいろなお話を聞かせていただいたが、こういうことになり今残念に思っているが、とにかく、発表の場がない。今おっしゃった歌舞伎の方でも来ない。昔、公会堂のこけら落としは当時の勘三郎さんがおいでだそう。今の子どもたち若い人たちにも、私たちも普通はこのままのいでたちで踊ることが多いが、本格的な白塗りをするのも日本舞踊には大事なことで、子ども劇場も何年前に市民会館で歌舞伎のような舞台をされ、孫を連れて行ったが、大変子どもたちが喜んでいて、牛若丸のああいういでたちを子どもたちは観たことが無いから素晴らしいと思っていたが、とにかく会場が取れない。これから先コロナも落ち着いてきたので文化のそういう行事もどんどん増えてくると思うが、本当に取れないので、委員がおっしゃったように遅くなればなるほどこの費用も安くなることはないと思います。だからなるべく早めに、なんとかしていただきたいとだけ今思っている。どうぞひとつご努力をお願いします。

【会長】

切実な声があちこちから。時間なのであと1人位。

【委員】

先程部長が言われていた PFI 等の方式が決まらなないと先が決まらなないとのことだが、その方式を決めるのはいつかと聞いてもそれもまだわからないとたぶん言われると思うが、やはり私は本当に推進室が絶対必要だと思う。どういう条件を整えば推進室を作ってくれるのかは市役所のことなのでわからないが、少なくともこの文化振興審議会の中からそういう推進室を作っていただきどンドン話を進めていってもらおうというのを、市に言うことはできないか。議事録として残してもらえればこの新しい施設の推進室を作ってくださいと審議会から提案をすることをさせていただければ少し進むのかという気がするがいかがか。

【会長】

ここの総意として提案はできるかと思うがどのくらい効力があるか。いつまでも紳士的なことを言ってもいつになるかわからないので、別の方法では殴り込みをかけるほうが何もしないよりは効果があるかもしれない。

【委員】

私としてはすぐにでも行きたい。

【会長】

1階フロア変わればだが、仕組みとしての話ではなくそのくらいの気持ちがあることをまずはちゃんと受け取ってほしい。部長いかがか。

【事務局（市民生活部）】

今のお話は、以前会長からもお話があっている。当然会議録にもしっかりそのことは載せており、会議録は公開しているので、その意味でも総務部とも共有は図っているところ。ただ今お話があった趣旨はやはりそのための必要な要員をしっかり確保して進めてほしいとの趣旨ではないかと思ったが、これも以前説明したかと思うが、今、文化振興課には、当然この新たな文化施設の整備を担当する専門の職員を必要な人数配置をしている。組織としては文化振興課という1つの組織ではあるが、新たな文化施設の整備に向けたそれを推進するための必要な要員は今配置をしている状況というのはまずご理解をいただければと思う。現時点ではまずその文化振興課の配置された職員の中で、早期に整備ができるようにまずはこの調査をしっかり進めていきたいというのが現状のお答えになる。

【会長】

今のご説明に2点矛盾があるが、配置をしていただいているがこの件については文化振興課だけでは話ができないと。できないところに人員を配置されても、やはり課を超えたところにそういうチームが作れないとだめだと思った。今日企画政策部長に来ていただき皆さんの熱はちゃんと伝わったような気がするが、あえて言葉で私が申しあげると、今日話があったようにずいぶん長い時間かけて文化施設の話をしている。基本計画もでき次は設計にいくところまでいった。それが去年6月突然見直すとストップがかかり、まちの賑わいとの話があり、そのうちいつか建物だけでなく周辺の3つも交えたサウンディングとどんどん話が広がるのかずれるのかわからないがなっている。そして時間が過ぎている。時間がかかる検討や調査をいつまでしているのかとの話があったがまさしくそんな思いがする。やはり我々としては少しでも前に進めていただきたい。そのために何ができるかをもう少し前向きに、たとえば来年度に向けてきちんと前に進めるための予算化をする。今その時期だろうから予算がなくて前に進めない。それから推進室との言葉があった。専門部署でいい。専門部署を課の中に置いておくのでは機能しないと思う。せつかく今日2つの部署からいらっしゃっているので横断的な専門部署をきちんと置いて必要において外部の意見を取り入れる。サウンディングも外部の意見。その方向性についても外部の意見があると思うが、前に進めるための努力をしていただきたいと思いますと強く思う。殴り込みはかけないのでご心配せず、ただ申し入れは強く申し入れようと思。時間なのでこんなまとめ方をさせていただき、今日はこれでお返すする。

以上